

Q&A: インフルエンザワクチン

Q1: インフルエンザワクチンは誰に推奨されますか？

A1: 高齢者、子供、妊婦、慢性疾患を持つ人、医療従事者など、特に感染リスクが高い人に推奨されます。

Q2: ワクチン接種はどのくらいの頻度で必要ですか？

A2: インフルエンザウイルスは毎年変異するため、毎年接種が推奨されます。

Q3: 接種後、抗体ができるまでどのくらいかかりますか？

A3: 接種から約 2 週間で抗体が形成されます。

Q4: ワクチンの副反応はどのようなものがありますか？

A4: 一般的な副反応には、接種部位の痛み、発熱、倦怠感などがあります。重篤な副反応は非常に稀です。

Q5: インフルエンザワクチンはインフルエンザに感染しますか？

A5: インフルエンザワクチンは不活化ウイルスや生弱毒ウイルスを使用しているため、接種後にインフルエンザに感染することはありません。ただし、接種後に流行している型に感染する可能性はあります。

Q6: 妊娠中でもワクチン接種は可能ですか？

A6: はい、妊娠中でもインフルエンザワクチンは安全とされています。妊婦はインフルエンザによる合併症のリスクが高いため、接種が推奨されます。

Q7: 接種を受けるべき時期はいつですか？

A7: インフルエンザシーズンの前、特に 10 月から 11 月に接種することが推奨されます。

Q8: 2 回接種が必要な場合はありますか？

A8: 小学生までの子供には、通常 2 回の接種が推奨されます。